



編集発行 南薩地域振興局農林水産部農政普及課  
南薩地域振興局農林水産部農政普及課指宿市十二町駐在

TEL 0993-52-1359  
TEL 0993-22-6422

## 有機栽培茶の深刈り更新による一番茶収量向上

### 1 茶の有機栽培における課題

有機栽培においては、化学農薬を使用することができないため、特に「やぶきた」など病害に弱い品種では、秋芽生育期に炭疽病などの被害が多発し、一番茶の収量・品質が低下することが大きな課題です。

### 2 収量向上技術の実証

秋芽の病虫害被害抑制と良質枝葉の確保を目的に、二番茶後の深刈り更新による翌年一番茶の収量・品質の向上に取り組みましたので、紹介します。

#### (1) 実証ほの概要

- ア 耕種概要 「やぶきた」、農薬不使用、無被覆
- イ 処理区の構成

区名	R3整剪枝(摘採)		
	深刈り	三番茶	秋整枝
実証区	○ 6/16	○ 8/3	○ 10/18
対照区	×	○ 7/24	○ 10/18

#### (2) 結果

##### ① 秋芽の生育(表上段)

対照区では、炭疽病が秋芽生育期に多発し、秋整枝時には落葉しました。

実証区では、深刈り更新により炭疽病葉が除去され、秋芽生育期には炭疽病は見られませんでした。また、再生芽が太く活性の高い枝へ生育し、秋整枝時には枝条・葉層が十分確保されました。

##### ② 一番茶の収量・品質(表下段)

収量は、実証区で芽が揃い、摘芽数が53本/20cm四方枠と多かったことで、630kg/10aと対照区より36%増収しました。荒茶の品質は、旨みに関与する全窒素含有率が4.6%と対照区より高く、単価は2,270円と対照区より19%高くなりました。その結果、収益は対照区より62%増加しました。

	実証区	対照区		実証区	対照区
秋整枝時			秋芽の炭疽病葉数/m <sup>2</sup>	2	224
			枝条数/20cm四方枠	切枝12 頂芽6	切枝11 頂芽14
			前回からの整枝高	5cm上げ	3cm上げ
			葉層	10.6cm	8.1cm
一番茶摘採時			摘芽数/20cm四方枠	53本	39本
			芽揃い(達観)	良	不良
			生葉実収量/10a	630kg	463kg
			荒茶全窒素含有率	4.6%	4.1%
			荒茶単価/kg	2,270円	1,902円

本技術は、更新による除草等の負担が課題です。病虫害対策と収益性向上(収量, 品質)に活用して下さい。

# 観葉女性部Ms.の会 再始動！

## 1 はじめに

【観葉女性部Ms.の会】は、令和4年2月に5名で再結成し、令和4年度は「女性の就農環境改善緊急対策事業」を活用して、『指宿の観葉植物の知名度向上、販路拡大、仲間づくり』に取り組みました。

## 2 知名度向上に向けて

### (1) マーケティング研修(福岡・東京)

福岡や東京・神奈川の市場や販売先での情報収集をしました。販売先の意向把握や販売ブースの見せ方、購入しそうな消費者、販売価格帯、販売店の特徴など研修しました。



【森を散策する感覚で購入できるショップ】(ソルソファーム:川崎市)

### (2) マルシェに出店

5月センターラス天文館のマルシェに5日間出店し、消費者ニーズの調査(好まれる品種、サイズ、価格など)をしました。

8月フラワーパークかごしま、10月ボルダータラス(鹿児島市)での出店は、その結果を参考に品揃えをしました。また、図



【センターラス天文館でのマルシェ】

のようなロゴマークを会員で考案し、ショップカードを作成し、マルシェ等で来客者に配布・PRしました。



【ショップカード】

### (3) 知名度アンケート調査

フラワーパークかごしまでのマルシェ時に観葉植物への関心や購入の目的、購入価格の目安、指宿の観葉植物の知名度などについて来場者100名にアンケート調査をし、消費者ニーズの把握を行いました。

### (4) SNSを活用した情報発信

CoCoDig.LLCの富田貴子先生をお招きして、インスタグラムの開設やスマホ撮影の演習をしました。



ショップカードの裏面にはインスタグラムのQRコードを印刷しました。

また、東京の観葉植物取扱店から、他産地紹介動画も紹介して頂き、情報発信の重要性を認識しました。



## 3 販路拡大(異業種との連携)

10月ボルダータラス(鹿児島市)にて、車の販売とコラボした販売会を実施しました。販売会の周知は、それぞれのインスタグラムで発信しました。



【ボルダータラス店内での販売告知と販売状況】

## 4 これから

JA観葉部会員に活動を開始したことや会員増加を希望していることを文書で周知し、様々なイベントごとに参加希望者を募った結果、会員は、11名になりました。今後も活動に共鳴する会員を増やしたいと思います。

また、SNSを活用した情報発信により、産地の知名度向上に向け、PR活動や販路拡大に取り組んでいきたいと思っています。

# ピーマン新規就農者の確保・育成に取り組んでいます

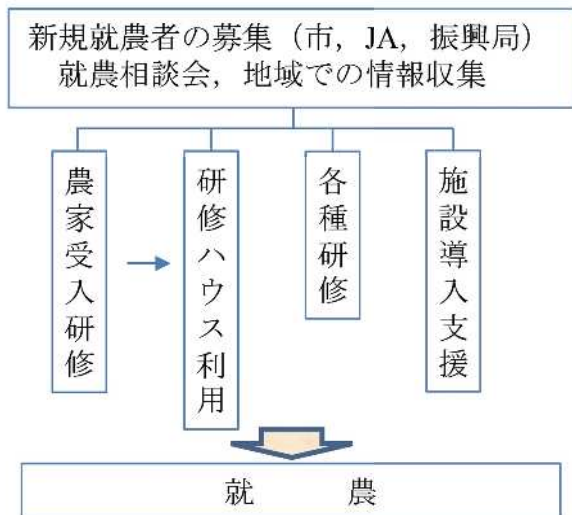
## 1 はじめに

加世田地区では、現在15名の農家が3haのハウスでピーマン栽培に取り組んでいます。

ハウスピーマン産地の拡大を図るため、南さつま市及びJA南さつま、生産者組織と連携し、新規就農者の受入体制づくりに取り組んでおり、令和4年度は1名が就農し、さらに1名が研修中です。

## 2 受入体制について

関係機関、生産者組織と新規就農者受入体制について令和2年度から検討を進め、令和3年に、空ハウスを研修施設として確保するとともに、農家での1年間の研修制度も設けています。



## 3 技術習得支援

### (1) 基礎的栽培技術の習得支援

基礎的な栽培技術や病虫害、肥料、資材の活用など、多くの知識が必要となるため、振興局では、部門共通の基礎研修や専門研修を実施しています。



写真1 専門研修の様子

### (2) 先進農家での1年間の研修

研修生の角さんは、市の事業を活用して昨年5月から、先進農家の湯舟氏圃場で1年間の体験研修を受けています。



写真2 1年間の研修にチャレンジ

### (3) 指導農業士による支援

昨年12月8日に、指導農業士の馬場氏（南九州市頰娃町）の圃場を訪問し、モニタリング機器や天敵昆虫の利用など指導してもらいました。



写真3 天敵の放飼の仕方を学ぶ

### (4) 施設導入支援

令和5年度事業活用によりハウス建設を予定しており、市、振興局で建設に向けた支援を行っています。

## 4 おわりに

来年度、2名が新規ハウスでピーマン栽培を開始します。ピーマン農家として自立し、将来の産地の中心となる農家になるよう支援していきます。今後も、新規就農者の確保・育成に努めますので、ピーマン栽培を始めたい人や地域で候補となるような人がいましたら、農政普及課、市、JAまで連絡してください。

# サツマイモ基腐病対策のポイント～植付期～

## 【苗準備】 必ず苗を消毒しましょう！



### ～対策のポイント～

- 採苗は**地際から5cm以上離れた位置**で切り上げましょう。
- 採苗で使用する**ハサミはこまめに消毒**しましょう。
- 消毒液は**使用日ごとに毎回調整**しましょう。

農薬の名称	対象病害虫	希釈倍率	使用時期
ベンレート水和剤	基腐病, つる割病, 黒斑病	500～1,000倍	植付前
ベンレートT水和剤20	基腐病, つる割病, 黒斑病	200倍	植付前

## 【ほ場準備】 排水対策を行いましょ！



### ～対策のポイント～

- ★ほ場外への排水をスムーズに！
- ほ場の均平化**
- 額縁明きよや枕畝の除去や切断**により排水溝を設置し、排水路へ接続する
- 排水路のつまり除去**などを実施しましょう。

# サシバエ対策に取り組みましょ！

サシバエは春先から涼しくなる秋口まで発生します。サシバエによる影響は、乳量が低下するなどの生産性の低下や、牛白血病などの感染症を媒介することも知られています。発生が本格化する前に対策を行いましょ！

○サシバエとは○  
 イエバエと違い、**吸血性あり**  
 最盛期は**春先と晩夏から秋**  
 発生時期は**春夏秋**です。

口先が尖ってるよ！



成虫はみで体長3.0～6.5mm, ♀で5.0～8.0mm  
 生涯産卵数は500～900個  
 産卵は羽化後一週間から開始  
 卵から成虫になるまでの日数は、30～35℃で7日～10日  
 成虫の生存期間は、♀で1～2ヶ月

対策のポイントとしては、**①発生させない, ②発生を抑える, ③ハエを捕らえる, ④ハエから守る**

### ★発生源対策★

年間を通じて、こまめな除糞や畜舎の清掃、環境整備をしましょ。

### ★幼虫対策★

IGR剤(脱皮羽化阻害剤)の利用。

冬場は月に1回、暖かくなり始めは2週間間隔で散布をしましょ。

ピーク時期は1週間間隔が効果的です。

### ★成虫対策①★

春先から秋口まで、ハエ取りシートや誘引殺虫法、防虫ネットを活用しましょ。

### ★成虫対策②★

ピーク時期に適宜様子を見ながら、殺虫剤の噴霧を行いましょ。

一番大切なのは、成虫になる前に駆除すること！  
 発生が多くなる前にしっかりと対策を！

